発行者　若松隆英
総代会
印刷者　奥山印刷

新年を迎えて

住職　若松隆英

檀信徒の皆様、明けましてお目出とうございます。良いお正月をお迎えの事と存じます。

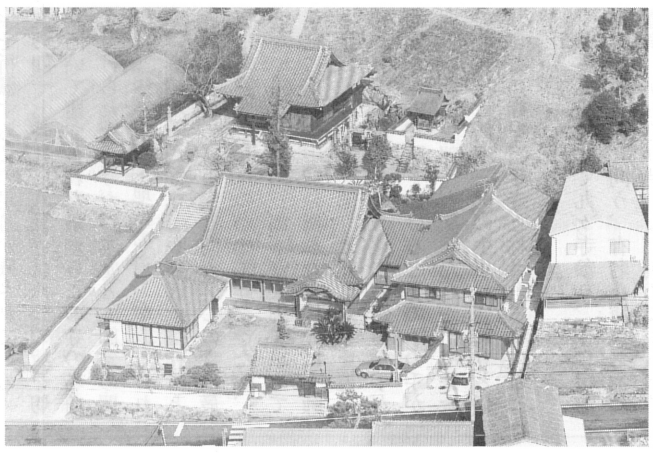
鳴物入りで迎えた二十一世紀も早、一年が経ちました。朝日寺にとりましては、念願でありました本堂、庫裡の修築がなり、四月八日、土砂加持法会を兼ねた落慶の行事が晴天に恵まれ、多くの檀信徒の参加のもと、賑やかに執り行われました。これで、これまで手を入れてまいりました境内の整備も一段落となりました。しかし、蔵の取り壊しに伴って、その中に収納されていました掛軸、経本、古文書類を別の場所に移し、専門家に調査をしてもらいました処、貴重な物が数多く有り、中には傷みの進んでいる物も有るとの指摘を受けました。そして早急な修繕が必要との事でした。そこで宝物保存会への加入をお願いした訳ですが、現在三百名以上の方のご加入がいただけました。ご協力、誠に有難うございます。

一方、社会に目を向けますと、誠に厳しい状況です。年末には皇室に内親王の誕生というお目出たい出来事もありましたが、失業率は上昇し、色々な負担が増し、構造改革の行方も不安です。そして九月十一日の米国の同時多発テロには驚きました。何千人という人が一度に犠牲になりました。これを引き起こしたのがイスラム教原理主義者という事で、本来、人を救うべきはずの宗教が、大量の殺傷事件を起こした事は慙愧に耐えません。

宗教は自らを越える大きな物の存在を信じる事で自分を律し、より高い精神生活を営み幸福感に満ちた人生に寄与する為のものです。

食べ物に調味料を加える事でおいしさが増す様に、生活に宗教を加える事で人生を充実させたものとする事が出来ます。でも調味料だけを食べたのでは、おいしい事はありません。うまく宗教と付き合ってほしいと思います。我々は派手な物、熱心な物に、つい心を動かされがちですが、静かではあっても、長く続いた物の中にこそ本物はあります。

今年一年のご多幸を心より、お祈り申し上げます。　合掌


朝日寺全景

年頭にあたって

総代長　島岡篤

明けましてお目出とうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は計画しておりました四月八日の落慶法会には稚児八十名、住職二十一名、ご詠歌三十名、稚児の付添い七十名と云う大変賑やかな美しい大行列でした。ご協力有難うございました。参拝者の方も今までよりも多く、餅投げにも三百名以上という賑やかさでした。密教婦人部、寺総代、稚児の皆さんの協力を得て本堂、客殿、庫裡の落慶法会の行事を終る事が出来ました。有難うございました。

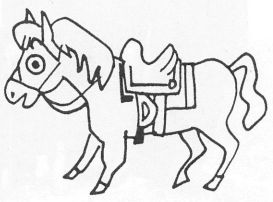
五月八日の一日寺巡りも西国有名寺院巡りと加西フラワーセンター周遊の旅と云う事でバス二台八十八名の参加者で行いました。天気はあまり良くなかったのですが、楽しい一日でした。

朝日寺宝物保存会の会員さんの募集につきましては多くの人にご賛同をいただきまして有難うございました。

平成十四年度の計画につきましては、春の一日旅行を五月中旬頃にと検討しております。

今後、寺の維持管理につきましては色々細かい事が出て来ると思いますが、尚一層努力しなければと総代会一同頑張る所存でございます。今後共宜しくご協力下さい。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を祈念致しましてご挨拶と致します。



迎春

密教婦人会々長　北野周子

明けましてお目出とうございます。皆様お揃で良いお正月をお迎えの事と思います。

昨年の四月には、突然思いもかけぬ大役を仰せ付かって、大変戸まどい、随分考えましたが、大役を果たすのも御先祖様の供養にもつながるのではと思い、大いに不安を感じながらもお引き受けさしていただきました。

どうかよろしくお願い致します。

さて、昨年の主な行事を簡単に振り返ってみますと、七月三日、作州霊場寺院研修旅行。

マイクロバスにて、本山寺、両山寺、泰西寺と、巡拝しました。最初に訪れた柵原町の本山寺は、一三〇〇年の歴史を持つ古刹。本堂や三重塔は、国重要文化財に指定されています。又中国遊歩道随一の名所でもあります。次に訪れた中央町両山寺では毎年八月十四日夜に護法祭（県指定重要無形民族文化財）と云う催がありこれは、仏法擁護、加藍安全、天下泰平、五穀豊穣を祈る祭だそうです。最後に訪れた久米南町の泰西寺は、朝日寺にもまけないくらい、いろいろな行事が行われています。又寺の奥の院は、川柳公園としても有名で、信仰に、観光にと脚光を浴びている所です。

それから九月二十七日、朝日寺密教婦人部研修会を朝日寺に於て開催しました。

天理市、長岳寺住職、北川慈照僧正による「生かせいのち　共にうやまい　共に感謝」と云うテーマで法話を聞かせていただきました。

小春日和の十一月二十一日牛窓町の遍明院に於て備前密教婦人部秋期研修会が開かれました。

遍明院の黒井泰然住職による「ハンセン病とたゝかった人々」と題して、愛生園の患者の人々との深い交流を持たれた初代、光田健輔園長と高島重孝園長の今までの功績をたゝえるお話を聞きながら、私はふと、遠い昔、四十数年前、初代邑久町名誉町民になられた光田先生のお宅を訪れ、大きな花束を手渡した事をなつかしく思い出していました。虫明と愛生園を結ぶ、人間回復の橋も出来てる今、隔離、強制収容、人権無視と長い間の偏見、差別を取り除いて人権の回復を願うばかりです。

続いて、瞽女唄「娘遍路一人旅」と題して月岡祐紀子先生のお話。

瞽女とは盲目の女旅芸人で数人が集団となって、生きる為に歌舞音曲を門付けする事で生活している女性達です。

少しばかり商売上手な現代っ子瞽女さんは、人間国宝、小林ハルさんの芸と心を伝えようと、地元の人達とのふれ合いを楽しみながら、四国八十八ヶ所を三味線を抱いての、奉納演奏。すばらしいばちさばきと、響きわたる美しい歌声に魅了された一時間二十分でした。

女三味線へんろ道

月岡祐紀子

この道は何の道
へんろへんろ道
空へ空へ続くやら
海へと続くやら
アゝ迷い道
イゝエほとけ道
南無々々へんろ道
遍照金剛

以前「知ってるつもり!?」で放映された人間国宝、小林ハルさんの芸と、生き方に心うたれ、一時間画面にクギ付けになりました。

私達会員は「相互の親睦と教養を深め心豊かな生活の促進とその充実を図る。」と、会則の第二条にもありますように、これからもボケ防止と老化予防をかね、いろいろな会に参加さしていたゞき、楽しくアクティヴな気持ちでガンバッテ（?）いきたいと思います。

最後になりましたが皆様のご健康と、ご多幸をお祈りいたします。

四国霊場巡りに参加して

久々井　武内常子

心配していた昨夜来の雨も出発の六時過ぎには小降りになり、東の空も明るくなって来ました。十月十日、今回は愛媛方面への二十八ヶ寺のお参りです。参加者二十名の皆様と先ずは住職の奥様の先導で三日間の無事を願って般若心経をお唱えしました。朝もやのかゝる瀬戸大橋を渡り一路松山道を西に進み、約四時間、やっと今日の第一番目の四十五番札所、岩屋寺へ着きました。売店の並ぶ坂道を抜け、山門から更に三百段程の石段、細い険しい参道の両側は杉に覆われ、山肌に沿って建つお堂の前に立つと、身の引締る感じだ。岩屋寺から近くの古岩屋荘で昼食を頂き四十四番札所大宝寺には、信者が寄進したと言われる仁王門に入りきらない程の大草履が吊られている。次の四十六番札所浄瑠璃寺には樹令千年の大木がそびえる境内には、健脚・交通安

道後にて